



2030 生物多様性枠組実現日本会議 (J-GBF)

ネイチャーポジティブ宣言

私たち「2030 生物多様性枠組実現会議(J-GBF)」は、日本で開催された生物多様性条約第10回締約国会合(CBDCOP10)を契機に設立された「国際生物多様性年国内委員会(地球生きもの委員会)」(2010年)・国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)(2011年～)を前身として発足しました。国民・事業者・NPO・地方公共団体といった多様なステークホルダーが連携する形で生物多様性保全の取組を推進しています。

今回、生物多様性条約第15回締約国会合(CBDCOP15)において、2030年までに生物多様性の損失を止め、反転させ、回復軌道に乗せること(ネイチャーポジティブ)の実現という新たな国際目標が設定されたことを受け、J-GBFは、以下の取り組みを進めることで、ネイチャーポジティブの実現に向けた社会経済の変革を目指すことをここに宣言します。

1. 我々の社会・経済が自然資本に依存していることを自覚し、豊かな生態系を維持し回復させる社会経済活動の拡大に取り組む。
2. 生物多様性による恩恵とそれによる人間の幸福をもたらすネイチャーポジティブの実現のため、脱炭素や循環経済、防災、地域活性化などの諸課題も含めた一体的な解決を目指す。
3. 日本において育まれてきた、地域固有の自然観・文化・産業を尊重する自然資本の持続可能な利用・保全を推進する。
4. 上記の取り組みに当たり、知見の共有、人材の育成、対話をはじめとするマルチステークホルダーの連携を重視する。

また、これらの取り組みを確実に進めるため、J-GBFによるネイチャーポジティブの実現に向けた社会経済の変革のための行動計画を今夏までを目途に策定します。

2023年2月28日

2030 生物多様性枠組実現日本会議

Japan Conference for 2030 Global Biodiversity Framework